

授業科目	養護概説					実務家教員担当科目	○				
単位	2.	履修	選択	開講年次	2	開講時期	後期				
担当教員	西丸 月美										
授業概要	<p>学校保健の教授内容を踏まえ、養護教諭の専門性に基づいた養護活動の基本について解説します。実務家教員としては、小・中学校の養護教諭としての実務経験をふまえ、養護教諭の職務内容を事例をもとに具体的に解説します。本講義では、児童生徒等の発達過程や子どもの特性を踏まえた保健室機能と養護教諭の役割、児童生徒等の健康診断、健康観察、学校感染症の予防、疾病管理、保健室経営などについて学びます。養護教諭の具体的な活動例を提示すると共に、グループワーク演習等も取り入れ授業を行います。</p>										
授業形態	講義・演習	授業方法	グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーション								
学生が達成すべき行動目標											
標準的レベル	<ol style="list-style-type: none"> 1. 保健室の機能と養護教諭の役割を説明できる。 2. 児童生徒等の健康診断の法的根拠及びその目的を説明できる。 3. 健康観察の意義とすすめ方について説明できる。 4. 学校救急処置の基本的なすすめ方について説明できる。 5. 健康課題を有する児童生徒等に対して学校が行う疾病管理における養護教諭の役割について説明できる。 6. 保健室経営と保健室経営計画について説明できる。 <p>養護教諭の専門性に基づいた養護活動の基本について学び、実践的技能と資質・能力の向上を目指しているため、到達目標がすべてできることを標準的なレベルとする。</p>										
理想的レベル	<p>標準的なレベルの全てを達成した上で、知識に関しては、詳細かつ丁寧に説明できること。さらに、児童生徒等の発達過程や子どもの特性を踏まえた保健室経営と養護教諭の役割を提示できることを理想的なレベルとする。</p>										
評価方法・評価割合											
評価方法	評価割合（数値）					備考					
試験	50%										
小テスト											
レポート	20%										
発表（口頭、プレゼンテーション）	30%										
レポート外の提出物											
その他											
カリキュラムマップ（該当 DP）・ナンバリング											
DP1	○	DP2	○	DP3	○	DP4	○	DP5	-	ナンバリング	WE21508J
学習課題（予習・復習）										1回の学習目安（時間）	
予習：シラバスを読んてくること。										4	

テキストの当該部分を予習しておくこと	
授業計画	
第1回	<p>テーマ：オリエンテーション</p> <p>授業の全体像と進め方について説明する。</p>
第2回	<p>テーマ：養護教諭の職務と専門性</p> <p>養護教諭の専門職化の過程について学ぶ。</p>
第3回	<p>テーマ：健康診断(1)</p> <p>児童生徒等の定期健康診断・臨時健康診断の概要について学ぶ。</p>
第4回	<p>テーマ：健康診断(2)</p> <p>児童生徒等の健康診断の進め方について学ぶ。</p>
第5回	<p>テーマ：健康診断(3)</p> <p>就学時健康診断及び教職員の健康診断の概要について学ぶ。</p>
第6回	<p>テーマ：健康診断(4)</p> <p>健康診断の事後措置、評価について学ぶ。</p>
第7回	<p>テーマ：疾病管理</p> <p>学校における慢性疾患、アレルギー疾患の疾病管理について学ぶ。</p>
第8回	<p>テーマ：健康観察</p> <p>健康観察の意義・方法について学ぶ。</p>
第9回	<p>テーマ：学校救急処置</p> <p>学校における救急処置の概要について学ぶ。</p>
第10回	<p>テーマ：健康相談</p> <p>学校における健康相談の概要について学ぶ。事例検討をし、グループワークを実施する。</p>
第11回	<p>テーマ：保健室経営①</p> <p>保健室経営計画の内容と作成について学ぶ。</p>
第12回	<p>テーマ：保健室経営②</p> <p>児童生徒等の健康実態と学校教育目標を踏まえた保健室経営について学ぶ。</p>

<p>第 13 回</p>	<p>テーマ：児童生徒等が求める保健室設計① 児童生徒等の健康実態と学校教育の目的を踏まえ、保健室の配置と室内設計について学ぶ。</p>
<p>第 14 回</p>	<p>テーマ：児童生徒等が求める保健室設計② (小・中・高・特別支援) 児童生徒等の健康実態と学校教育の目的を踏まえ、保健室の配置と室内設計・掲示物を作成し発表する。</p>
<p>第 15 回</p>	<p>テーマ：まとめ 養護概説において学んだ内容から重要事項を整理する。</p>
<p>テキスト</p>	<p>津島ひろ江他編著：「学校における養護活動の展開」最新版 (ふくろう出版) 学校保健・安全実務研究会編著 「新訂版 学校保健実務必携」 (第一法規)</p>
<p>参考図書・教材 ／データベース・雑誌等の紹介</p>	<p>参考図書： 「よくわかる！教職エクササイズ8 学校保健」柳園順子編著 ミネルヴァ書房 「教職員のための子どもの健康観察の方法と問題への対応」 文部科学省 「学校のアレルギー疾患に対する取り組みガイドライン」 (日本学校保健会) 「現代的課題を抱える子供たちへの支援～養護教諭の役割を中心として～」(文部科学省) 「児童生徒等の健康診断マニュアル」 (日本学校保健会) 「教職員のための子どもの健康観察の方法と問題への対応」(文部科学省) 「学校保健の動向」2023 年度版 (日本学校保健会発行) 「学校保健の課題とその対応－養護教諭の職務に関する調査結果から－令和2 年度改訂」(日本学校保健会) 「保健室経営計画の手引き」(日本学校保健会) 「養護教諭のための 児童虐待対応の手引」(文部科学省) 「保健室経営計画の手引き」(日本学校保健会) 学校保健ポータルサイト https://www.gakkohoken.jp/ 学校安全 WEB サイト https://www.jpnsport.go.jp/anzen/ 教材：必要に応じて資料を授業中に配布する。そのほか随時紹介します。</p>
<p>課題に対するフィードバックの方法</p>	<p>試験及びレポート内容については、授業の中で指示する。 授業中に課題として提示するレポートは評価に加えるので必ず提出しましょう。</p>
<p>学生へのメッセージ・コメント</p>	<p>子どもの発達過程を理解しておくことはもちろんであるが、医学、解剖学、微生物学、公衆衛生学等の知識を必要とする。 教科書を使った予習に加えて、図書館の指定図書等を参考に自己学習を行ってください。 また、子どもの健康問題や教育について ETV (教育関連の放送) や新聞報道等から情報収集をして授業にんでください。</p>

